

Info
1

もしもの被害に備えて知っておこう

6月1日～30日は土砂災害防止月間

6月から10月の間は、前線や台風などの影響により雨量が増えるため、土砂災害や河川の増水による洪水・冠水が発生しやすい時期です。こうした天災による被害を最小限に抑えるためには、正しい知識を身に付け、日頃から準備することが最大の予防策となります。土砂災害や洪水・冠水から、大切な命や財産を守るために必要な知識・情報を紹介します。

問い合わせ 建設課管理係(☎35-0902)、危機管理課防災対策係(☎35-0923)

■大雨による土砂災害の発生

土砂災害は、自然の急傾斜のがけ、人工的な造成による斜面などが大雨により崩壊することで起こります。また、弱い雨でも長時間降り続けることによって地盤が緩み崩れやすくなり、発生することがあります。

■土砂災害の種類

①土石流

山や谷(溪流)の土、石、木などが、大雨や長雨などによる水と一緒に、時速40キロメートル以上の速度で流れてくるもの。



②地すべり

大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、地下水の影響により持ち上げられた地面が、広い範囲にわたり徐々に動き出すもの。



▲土砂災害によって、通行できなくなった道路

③がけ崩れ

急傾斜地(傾斜の角度が30度以上で高さが5メートル以上の地形)において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだがけが突然崩れ落ちるもの。

※土石流・地すべり・がけ崩れは地震により発生することもあります。



■土砂災害から身を守るために

日頃から土砂災害に対する防災知識を持っておくことが大切です。「土砂災害がどこで、どのように起こるか」を理解し、非常時に備えましょう。また、自分の暮らす家が土砂災害危険箇所にあるかあらかじめ調べておきましょう。

土砂災害(特別)警戒区域は、静岡県砂防課ホームページ内「静岡県の土砂災害情報マップ」や市ホームページの「きくのんマップ」、市から配布されている「防災ハザードマップ」で確認しておきましょう。



▲静岡県の土砂災害情報マップ



■「土砂災害110番」を活用しましょう

「土砂災害110番」は、住民と行政との情報共有を行い、早急かつ適切な対応を実施することを目的に設置した土砂災害の相談窓口です。住民からの平常時の問い合わせや、災害時の前兆現象・災害情報の通報を受け付けていますので、ぜひご利用ください。

菊川市建設課(☎35-0902)
袋井土木事務所(☎0538-42-3216)

Point

小さな積み重ねで被害を軽減

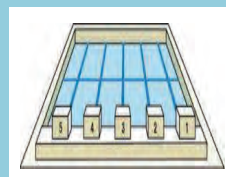
大雨の時に、お風呂の水を流さず、貯めたままにしておくと、河川への流入が軽減され、調整池と同じ効果を得ることができます。

例えば、菊川市の家庭のお風呂で計算すると、およそ360万リットル(25メートルのプール7.5面分)の貯水量になります。



一般家庭のお風呂
(200リットル)
×
およそ 1万8000世帯

＝



25メートルのプール
(48万リットル)
×
7.5面分